

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	音楽
科目基礎情報						
科目番号	0004		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実技		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学分野		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	高校音楽 I ミュージックビュー (教育出版)					
担当教員	高橋 久美子,加藤 岳人					
到達目標						
音楽美を理解し、感得することで創造的活動と知的陶冶に結びつけ、高尚な美的情操と豊かな人間性を養うことに目標を置く。生活の中に高尚な趣味を持ち、美的判断を高め、円満な人間形成ができるようになる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 音符や休符の示すリズムと音階を理解し、正しく読み書きができる。		楽譜によって正しく演奏でき、メロディーを正しく記譜することができる。	楽譜の意味を理解できるが、記譜することができない。		楽譜の読み書きができない。	
評価項目2 正しく楽器の演奏ができる。		キーボード、リコーダー、ギターという、タイプの異なる楽器を複数演奏できる。	キーボード、リコーダー、ギターのうちひとつを正しく演奏できる。		楽器の演奏ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A						
教育方法等						
概要	音楽美を理解し、感得することで創造的活動と知的陶冶に結びつけ、高尚な美的情操と豊かな人間性を養うことに目標を置く。生活の中に高尚な趣味を持ち、美的判断を高め、円満な人間形成ができるようになる。					
授業の進め方・方法	毎回の授業で小テストを行う。その内容は、個人の歌唱、器楽奏、指揮法などである。また、合奏の他、音楽史、楽典、聴音等の学習時には課題を課す。音を出すことに責任を持てるようにすること。 小テストの成績を60%、提出された課題の内容を40%として、この合計点により合否判定を行う。60点以上で合格とする。 学習意欲や学習態度でプラスマイナス10段階の評価を出し、合否判定成績に加点減点し、これを最終評価とする。 再試験は、課題提出と実技テストを行う。(60点以上で合格。)					
注意点	実技の練習は効率的に行なうこと。 友人同士で助け合うことが大切です。リコーダー、ギター、キーボードは大切に使用してください。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	音楽の要素としくみ		音楽のきまりを理解できる	
		2週	音楽の要素としくみ		音楽のきまりを理解できる	
		3週	リズム		音楽を身体で感得できる	
		4週	メロディ		音楽を注意深く聞くことができる	
		5週	ハーモニー		音の組み立てを理解できる	
		6週	ハーモニー		音の組み立てを理解できる	
		7週	楽典		記譜能力を身に着けることができる	
		8週	楽典		記譜能力を身に着けることができる	
	2ndQ	9週	物語と音楽		音符とリズムの関係を理解することができる	
		10週	物語と音楽		音符とリズムの関係を理解することができる	
		11週	絵画と音楽		音符とリズムの関係を理解することができる	
		12週	絵画と音楽		音符とリズムの関係を理解することができる	
		13週	合奏 (アニメ・メドレー)		・有名な曲を演奏することができる。 ・アンサンブルを楽しむことができる。	
		14週	合奏 (アニメ・メドレー)		・有名な曲を演奏することができる。 ・アンサンブルを楽しむことができる。	
		15週	合奏 (アニメ・メドレー)		・有名な曲を演奏することができる。 ・アンサンブルを楽しむことができる。	
		16週	試験は実施しない			
後期	3rdQ	1週	創作		・メロディーに詞をつけることができる。 ・自作の詞にメロディーをつけることができる。	
		2週	創作		・メロディーに詞をつけることができる。 ・自作の詞にメロディーをつけることができる。	
		3週	創作		・メロディーに詞をつけることができる。 ・自作の詞にメロディーをつけることができる。	
		4週	創作		・メロディーに詞をつけることができる。 ・自作の詞にメロディーをつけることができる。	
		5週	音楽史		音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる	
		6週	音楽史		音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる	
		7週	音楽史		音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる	
		8週	アメリカ大陸の音楽		音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる	
	4thQ	9週	ドイツの音楽		・諸民族の音楽を特徴を捉えることができる。 ・楽曲の構造や楽器とメロディーの関係を学ぶことができる。	

		10週	ドイツの音楽	・ 諸民族の音楽を特徴を捉えることができる。 ・ 楽曲の構造や楽器とメロディーの関係を学ぶことができる。
		11週	イタリアの音楽	・ 諸民族の音楽を特徴を捉えることができる。 ・ 楽曲の構造や楽器とメロディーの関係を学ぶことができる。
		12週	イタリアの音楽	・ 諸民族の音楽を特徴を捉えることができる。 ・ 楽曲の構造や楽器とメロディーの関係を学ぶことができる。
		13週	合唱	・ リズム、メロディーを正しく演奏することができる。 ・ ハーモニーを組み立てることができる。
		14週	合唱	・ リズム、メロディーを正しく演奏することができる。 ・ ハーモニーを組み立てることができる。
		15週	まとめ	・ リズム、メロディーを正しく演奏することができる。 ・ ハーモニーを組み立てることができる。
		16週	試験は実施しない	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100	
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	